

平成30年5月11日

# 風は東から

To be continued...



選手権予選&リーグ戦に向けリスタート!!  
まだまだ足りない“個”を伸ばす!!

インターハイ代表決定戦は、“超”守備的なシフトの前に完封負け!!

更に攻撃的なチームに成長し、選手権&リーグ戦に挑む!!

4月22日(日)からスタートした、今年度初の公式戦となったインターハイ予選は、東高のホームグラウンドで、二回戦までが行われました。初戦の自由学園戦には、この冬成長著しい三年生主体で臨み9-0、二回戦では四年前に全国選手権大会に出場した強豪校の都立三鷹高校(現三鷹中等)に決定機を決めきれずに苦しいゲームにしてしまいましたが2-1と勝利し、冬の厳しいTRとこの間に数多く行われたTRMで、強豪チームにトコトン揉まれた成果が表れ、ここまでは、順調に代表決定戦へ勝ち進むことができました。

さて、5月3日(木)の代表決定戦の相手は、前ゲームで明星学苑の驚異の粘りに合い、PK合戦の末苦勞して勝ち上がってきた明大明治高校です。同校は、昨年度より、盛岡グルージャ(J3)や明治大学で指揮を執っていた神川氏を監督として招聘し、サッカー部の強化に本格的に乗り出し、早速、高体連の大会では都大会に出場させるとともに、地区トップリグ昇格も果たしました。神川監督は、二回戦の三鷹高校戦を観戦に訪れていただけに、一体、明大明治が東高相手にどのように闘ってくるのか、大変興味がありました。特に、前線の三人のFWはそれぞれ個性があり、どんな攻撃を仕掛けてくるのかも楽しみでした。前日までの雨は、午前中には上がったものの、強風の吹く中、代表決定戦は明大明治グラウンドで二時にキックオフされました。



インターハイ予選 VS三鷹



## 明大明治の強固な守備網を打ち破れずに、完封負け…

キックオフ時から、東高の攻撃に勢いがあり明大明治ゴールへ迫ります。人工芝のグラウンドは、東高にとって好条件であり、日頃TRで積み上げてきた成果が発揮されます。ゴールこそは奪えませんでしたでしたが、いつもよりやや引き気味の明大明治を序盤は押し込みます。しかし、前半10分に右サイドで奪われたボールをサイドチェンジされると、相手の右サイドバックに一気に持ち込まれ右45°から打たれたシュートは、逆のサイドネットに綺麗に突き刺さり相手に先制されました。これが相手のファーストシュートであり、恐らく、前半は三本しかシュートを打たれていません。

時間は十分にあるので、子どもたちは焦らずにボールを動かしながら相手の守備網を破りにかかります。中央の崩しやサイド攻撃を織り交ぜ、自分たちで考えたセットプレーでも揺さぶりをかけながら、ジワジワと相手ゴールへ圧を掛けますが、守備的なシフトを敷く相手チームのゴールを抉り開けるには至りません。後半は、完全に前線の一人を残し、更に守備を固め、こちらのミスを誘いカウンターで追加点を狙う徹底した戦術に、あと一手足りず時間は経過していきます。



## 勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし (9代平戸藩主 松浦静山)

最後の最後まで、子どもたちは、今までTRで積み上げてきた攻撃的なサッカーで勇敢にボールを受け、明大明治ゴールを攻め続けましたが、相手センターバックを中心に集中力を切らさない強固な守備陣からゴールを奪えずに0-1のままタイムアップ。チームとしては、TRMを含めて二か月の完封負けで、残念ながらインターハイ予選は終了しました。



昨年度から、公式戦を闘っていく中で、相手チームが東高対策？を敷いてくるようになり「自分たちのサッカーを貫き、そして、結果を出す(ゴールを奪い、勝利する)ことは、難しくなっているなあ。」と実感しています。特に、守備網を敷かれ相手陣地(ゴール前)を固められると、今年のチームのようにそれを打ち破るだけの個の力を向上することが、現チームの今後の課題です。今大会も、日頃のTR&TRMで培ってきた自分たちのスタイルで臨み、結果は0-1で敗れました。この結果を謙虚に受け止め、この後のTリーグと選手権に向けて更に精進していきたいと思えます。

<攻撃的なサッカーへ更に精進>

## <After the Game>

インターハイ予選は、果敢に守備的な明大明治を攻めましたが、ゴールを奪えずに完封負けでした。0-1で敗れたことより、3-0で勝利できなかったことの方が悔しいですね。子どもたちは、最後まで東高の攻撃的なサッカーでチャレンジをしました。チャンスもたくさん作りましたが、ゴールを奪えなかったことも東高の今後の課題として残りました。負けた事実は真摯に受け止め、でも、ここまで積み上げてきた東高サッカーに誇りをもって、顔を上げて前進していこうと思っています。さて、この後は、各種リーグ戦が本格的にスタートします。ここから、一年生が合流し、2018東高サッカー部はリスタートを切ります。今回の悔しさをバネに、もっともっと上手くなり、どんな守備的な布陣を敷かれても、それを打ち破れるチームに成長できるよう頑張ります!!